

小さくとも光り輝き続ける村づくりに貢献

令和8年二十歳のつどいを1月4日に開催しました。10名が出席し、保護者や多くの来賓の方々に見守られながら、大人としての決意を新たにしました。式典では、参加者が一人ずつ自己紹介を行った後、代表者として奥田 寛太さん（大棚校区）が、「島を出た同級生や先輩、これから進学などで島を出る子供たちが帰ってきたいと思えるような環境を作って、島を盛り上げたい。小さくとも光り輝き続ける村づくりに貢献できる一員になることを誓います。」と決意を述べました。

参加者の今後の活躍を期待します。



みんなで、ラグビーを楽しもう

今年度も「つなGO奄美大島」が開催されます。このイベントは、奄美大島の5市町村で同時に行われるスポーツ教室で、大和村ではラグビー教室を実施します。講師には、元7人制ラグビー日本代表の築城 昌拓（つきき まさひろ）氏を招いています。トップアスリートが指導する貴重な機会です。参加をお待ちしております。

期 日：令和8年2月8日（日）

時 間：10:00～12:00（受付9:30～）

場 所：奄美フォレストポリス多目的広場

※小学生以上であれば、未経験者でも参加できます。

お申し込み先・問い合わせ先

大和村教育委員会事務局 TEL 0997-57-2154



申込QRコード

毎月19日は『育児の日』
第3土曜日は『青少年育成の日』
第3日曜日は『家庭の日』



昭二兄よの四方山話（よもやまばなし）



万葉語と奄美語

奄美語は、万葉語のなごりが残っていると言われていいます。私たちは日頃知らずに島ぐちを使っていますが、日本の古い言葉を使っているという認識がありません。子供の頃、大人たちが使っていた言葉の多くが時代とともに消え去ろうとしています。日本の古語が残る島言葉という想いをもって大切にしたいものです。自分の記憶と資料を参考に述べたいと思います。

万葉語

あさる…奄美語でアサリ 探すこと
あきなひ…アキネ 商売のこと
あたらし…アトラシヤ 惜しいこと
あぶらぐち…アブラグチ 能弁 ロがうまい
あましだり…アムシユダリ 雨だれ
あむい…アムイ 浴びること
いめ…イムイ 夢
うそぶき…イショビキ 口笛のこと 最近ほとんど聞かない
うわなり…ワァナリ 嫉妬 やきもちのこと デインキとも言う
かなし…カナシヤ 愛しい
くびる…クビリ 縛ること
こってうし…コッテウシ オス牛
こばしい…カバシヤ 良い匂いのこと あまり聞かない言葉
さかしま…サーシマ 逆さまのこと
さがし…サガシヤ 傾斜が険しいこと
しじゅう…シジュウ 常に 今はほとんど聞かない
たまぎる…タマガル 驚くこと 今でも良く使っている言葉
たる…ダルサ 疲れること だるいとも言う
だんだん…ダンドン 色々なことを言う
たまな…タマナ 野菜のきゃべつを言う
つぶり…ツイブル 頭の事を言う かまちとも言う
なし…ナシ 産むこと ナチイとも言う
ねたし…ネタサ 妬ましい
ねぶる…ヌイブリ 眠ること
はじ…ハジギイ はぜの木
めづらか…ムイヅラカ 珍しいこと
めのわらわ…ムイラビイ 乙女
ゆうまぐれ…ユマグル 夕暮れ
みお…ミョウ 海の深み 浅瀬から深くなっている場所のこと

参考資料…万葉語と奄美語 高司 尚則